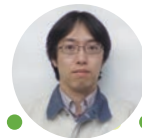


# 復活する江戸東京野菜

今回の担当●西多摩農業改良普及センター 鈴木 克彰 さん



## 江戸東京野菜とは

江戸東京野菜とは、江戸時代～昭和40年頃に東京周辺で作られていた伝統野菜のことをいいます。近年のF1品種に比べて収量が少ない・病気に弱い・揃いが悪いことなどもあり、一時は姿を消しつつありました。しかし、最近になって伝統野菜の価値が見直されてきており、江戸東京野菜を復活させようという活動が広がっています。

## 江戸東京野菜にはどんなものがあるの？

江戸東京野菜には現在50品目が登録されています。その中には、ごせき晩成コマツナや練馬ダイコンなど普段よく目にする品目だけでなく、季節もののタケノコや奥多摩のワサビ、伊豆諸島のアシタバなどがあり、バラエティに富んだラインナップになっています。

●一覧（JA東京中央会のHPより）>> <https://www.tokyo-ja.or.jp/farm/edo/>  
江戸東京野菜を使った料理を食べてみたい方は、こちらのHPを参考にしてみてください。  
>> <http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/norin/syoku/ouenten/food.html>

## 江戸東京野菜を栽培してみたい

江戸東京野菜のほとんどは、固定種や株分けなどで増やすものであるため、種子や株を入手するのが難しいものが多いです。江戸東京野菜を栽培したい場合は、販売されている種苗を購入するか、栽培者に種子や株を分けてもらうこととなります。寺島ナス、馬込半白キュウリ、馬込三寸ニンジンが種苗会社から販売が予定されているなど、入手の機会は増えてきています。販売されていなくてもあきらめずに、普及センターにご相談ください。

### 馬込半白キュウリ



東京都農林総合研究センターでは、江戸東京野菜の栽培試験を行っています。寺島ナス、馬込半白キュウリ、馬込三寸ニンジン、亀戸ダイコン、ごせき晩成コマツナの試験が行われていますので、これらの栽培がオススメです。

栽培について詳しく知りたい方は、普及センターにお問い合わせください。

### 卵大で収穫する寺島ナス



お問い合わせ先

西多摩農業  
改良普及センター  
TEL  
0428-31-2374